工 事 費 内 訳 書

工事名　　令和6年度(繰越)仁淀川町立別府小学校屋内運動場空調設備整備工事

高知市北川添12番19号
株式会社 ＭＡ設計事務所
代表取締役　　岩原 英和
tel 088 861-2100 fax 088 861-9190

令和7年7月作成

金　　円

（工事価格 金　　円）

（種目別内訳）

記号	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
Ⅰ	（直接工事費）						
A	空調設備整備工事		1.0	式			
	計						
Ⅱ	（共通費）						
	共通仮設費		1.0	式			
	現場管理費		1.0	式			
	一般管理費等		1.0	式			
	計						
	合計						
	改め合計（工事価格）						
	消費税等相当額		1.0	式			
	総合計（工事費）						

（科目別内訳）

記号	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
Ⅰ	空調設備整備工事						
1	機械設備工事		1.0	式			
2	電気設備工事		1.0	式			
3	建築工事		1.0	式			
	計						

（細目別内訳）

記号	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1	機械設備工事						
	空調設備工事(EHP)						
	空気熱源ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟﾊﾟｯｹｼﾞｴｱｺﾝ	天吊り型 224	7.0	台			
	空調機 取付費（室内・室外機）	室内機 天吊り 25.0KW以下、図示による	7.0	台			
	冷媒用被覆銅管	φ9.52,φ25.4(ｺﾛｶﾞｼ・隠ぺい・共巻部)	90.0	m			
	ケーブル	CE3.5-4C(ｺﾛｶﾞｼ・隠ぺい・共巻部)	90.0	m			
	保温ラッキング	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板冷媒配管支持、図示による	62.0	m			
	保温付きﾄﾞﾚﾝﾊﾟｲﾌﾟ	25mm、外機ﾄﾞﾚﾝ共	28.0	m			
	硬質塩化ビニル管	VP 20A　一般(ｺﾛｶﾞｼ・隠ぺい・露出)	17.0	m			
	転倒防止金具	SUS固定材共、図示による	7.0	式			
	室外機据付固定支持	ｷｬｯﾁｬｰPCNJｼﾘｰｽﾞ等、図示による	7.0	台			
	室内機固定支持	保護全面カバー等、図示による	7.0	台			
	接続確認立会	給電伝送ﾘﾓｺﾝ系統	1.0	式			
	リモコン取付	ﾘﾓｺﾝ・給電ﾕﾆｯﾄ共	1.0	式			

（細目別内訳）

記号	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	空調設備工事(ｴｱｰｽｲﾝｸﾞﾌｧﾝ)						
	ｴｱｰｽｲﾝｸﾞﾌｧﾝ	天吊り型	6.0	台			
	ｴｱｰｽｲﾝｸﾞﾌｧﾝ取付費		6.0	台			
	ｴｱｰｽｲﾝｸﾞﾌｧﾝ固定支持	保護全面カバー等、図示による	6.0	台			
	接続確認立会	ｴｱｰｽｲﾝｸﾞﾌｧﾝ系統	1.0	式			
	リモコン取付	ｴｱｰｽｲﾝｸﾞﾌｧﾝ	1.0	式			
	小計						

（細目別内訳）

記号	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2	電気設備工事						
	電灯設備　分岐						
	PF22	隠ぺい・附属品共	8.0	m			
	CEES1.25-2C	ケーブル(22)	4.0	m			
	CEES1.25-2C	ケーブル(ﾋﾟｯﾄ､天井内隠ぺい)	63.0	m			
	EEF 1.6-3C	ケーブル(ﾋﾟｯﾄ､天井内隠ぺい)	54.0	m			
	EEF 2.0-3C	ケーブル(22)	4.0	m			
	EEF 2.0-3C	ケーブル(ﾋﾟｯﾄ､天井内隠ぺい)	30.0	m			
	位置ﾎﾞｯｸｽ		2.0	個			
	既設2LT-1盤内結線	20ABK・接地線共	2.0	か所			
	既設電灯計器盤内結線	接地線新設動力盤共	1.0	か所			
	機器結線	ﾘﾓｺﾝ・給電ﾕﾆｯﾄ、配線材共	1.0	式			
	機器結線	ｴｱｰｽｲﾝｸﾞﾌｧﾝ系統	1.0	式			

（細目別内訳）

記号	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	誘導灯・放送・Wi-Fi設備						
	位置ﾎﾞｯｸｽ		3.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ	金属	3.0	個			
	誘導灯　移設　撤去・再取付	附属品・配線材・結線・試験共	1.0	か所			
	ｽﾋﾟｰｶ　移設　撤去・再取付	附属品・配線材・結線・試験共	1.0	か所			
	Wi-Fi　移設　撤去・再取付	附属品・配線材・結線・試験共	1.0	か所			

（細目別内訳）

記号	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	動力設備　幹線						
	HIVE 28	露出・附属品共	3.0	m			
	HIVE 36	露出・附属品共	5.0	m			
	HIVE 70	露出・附属品共	5.0	m			
	IE2.0	管路(呼線・ボンド)	12.0	m			
	IE14°	管路	3.0	m			
	CET60°	管路	5.0	m			
	IE2.0	ｺﾛｶﾞｼ・隠ぺい・共巻部	2.0	m			
	IE14°	ｺﾛｶﾞｼ・隠ぺい・共巻部	1.0	m			
	CET60°	ｺﾛｶﾞｼ・隠ぺい・共巻部	2.0	m			
	ﾀﾞｸﾀｰ W=100・28ｸﾘｯﾌﾟ共	ケーブル支持材SUS製・固定部品共	3.0	か所			
	ﾀﾞｸﾀｰ W=300・70.36ｸﾘｯﾌﾟ共	ケーブル支持材SUS製・固定部品共	4.0	か所			
	引止金具	L600・固定部品共	1.0	か所			
	PB 400x400x400	防水ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ(SUS)端子付・固定部品共	1.0	個			
	動力引込計器開閉器盤	指定色塗装	1.0	台			

（細目別内訳）

記号	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	動力設備　分岐						
	PF22	隠ぺい・附属品共	36.0	m			
	HIVE 22	露出・附属品共	41.0	m			
	HIVE 28	露出・附属品共	25.0	m			
	HIVE 54	露出・附属品共	28.0	m			
	MKﾀﾞｸﾄ 80-100	露出・附属品共	38.0	m			
	可とう電線管ビニル被服	HIVE 22防水接続材　/ヶ所・附属品共	14.0	m			
	可とう電線管ビニル被服	HIVE 28防水接続材　/ヶ所・附属品共	10.0	m			
	可とう電線管ビニル被服	HIVE 54防水接続材　/ヶ所・附属品共	8.0	m			
	CEES1.25-2C	ケーブル(22)	152.0	m			
	CEES1.25-2C	ケーブル(HIVE22)	18.0	m			
	CEES1.25-2C	ケーブル×2(HIVE22)	64.0	m			
	CE 8-4C	ｺﾛｶﾞｼ・隠ぺい・共巻部	186.0	m			
	CE 8-4C	ケーブル(HIVE28)	42.0	m			
	CE 8-4C	ケーブル×2(HIVE54)	68.0	m			
	ﾀﾞｸﾀｰ W=150・28.22ｸﾘｯﾌﾟ共	ケーブル支持材SUS製・固定部品共	31.0	か所			
	ﾀﾞｸﾀｰ W=200・54.28ｸﾘｯﾌﾟ共	ケーブル支持材SUS製・固定部品共	16.0	か所			
	ﾀﾞｸﾀｰ W=300・54ｸﾘｯﾌﾟ共	ケーブル支持材SUS製・固定部品共	8.0	か所			

（細目別内訳）

記号	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	PB 150x150x150	防水ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ(樹脂)・固定部品共	6.0	個			
	PB 200x200x150	防水ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ(樹脂)・固定部品共	8.0	個			
	PB 300x300x200	防水ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ(樹脂)・固定部品共	5.0	個			
	PB 400x400x400	防水ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ(SUS)端子付・固定部品共	2.0	個			
	機器結線	室外機伝送・室外機間	7.0	台			
	電動機結線	11KW 以上	7.0	台			
	小計						

（細目別内訳）

記号	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
1	建築工事						
	直接仮設						
	仕上養生		338.0	m2			
	移動式足場(ﾛｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰ)	3段・期間１カ月	1.0	台			
	金属						
	天井点検口　450角	アルミ製　内外共アルミ額縁枠	23.0	箇所			
	天井点検口　600角	アルミ製　内外共アルミ額縁枠	1.0	箇所			
	天井開口補強　450角		23.0	箇所			
	天井開口補強　600角		1.0	箇所			
	小計						

令和６年度(繰越)

仁淀川町立別府小学校屋内運動場空調設備整備工事

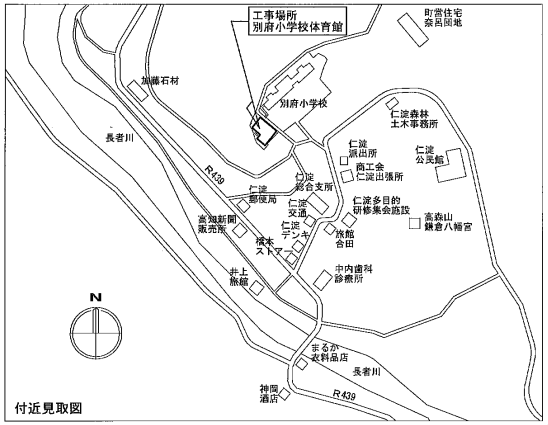
図　　面　　表	
図面ＮＯ	
（共通）	
01	設計概要　付近見取図　配置図　立面図
（電気）	
02	電気特記仕様書
03	電気機材指定表
04	分電盤結線図
05	1階2階動力・電灯他設備図
（機械）	
06	機械特記仕様書（1）
07	機械特記仕様書（2）
08	空調機器仕様
09	空調設備(EPH)図
10	空調設備(ｴｱｰｽｲﾝｸﾞﾌｧﾝ)図　天井点検口位置図
11	空調機・ｴｱｰｽｲﾝｸﾞﾌｧﾝ位置図　参考仮設計画

令和7年7月現在
表紙共12枚

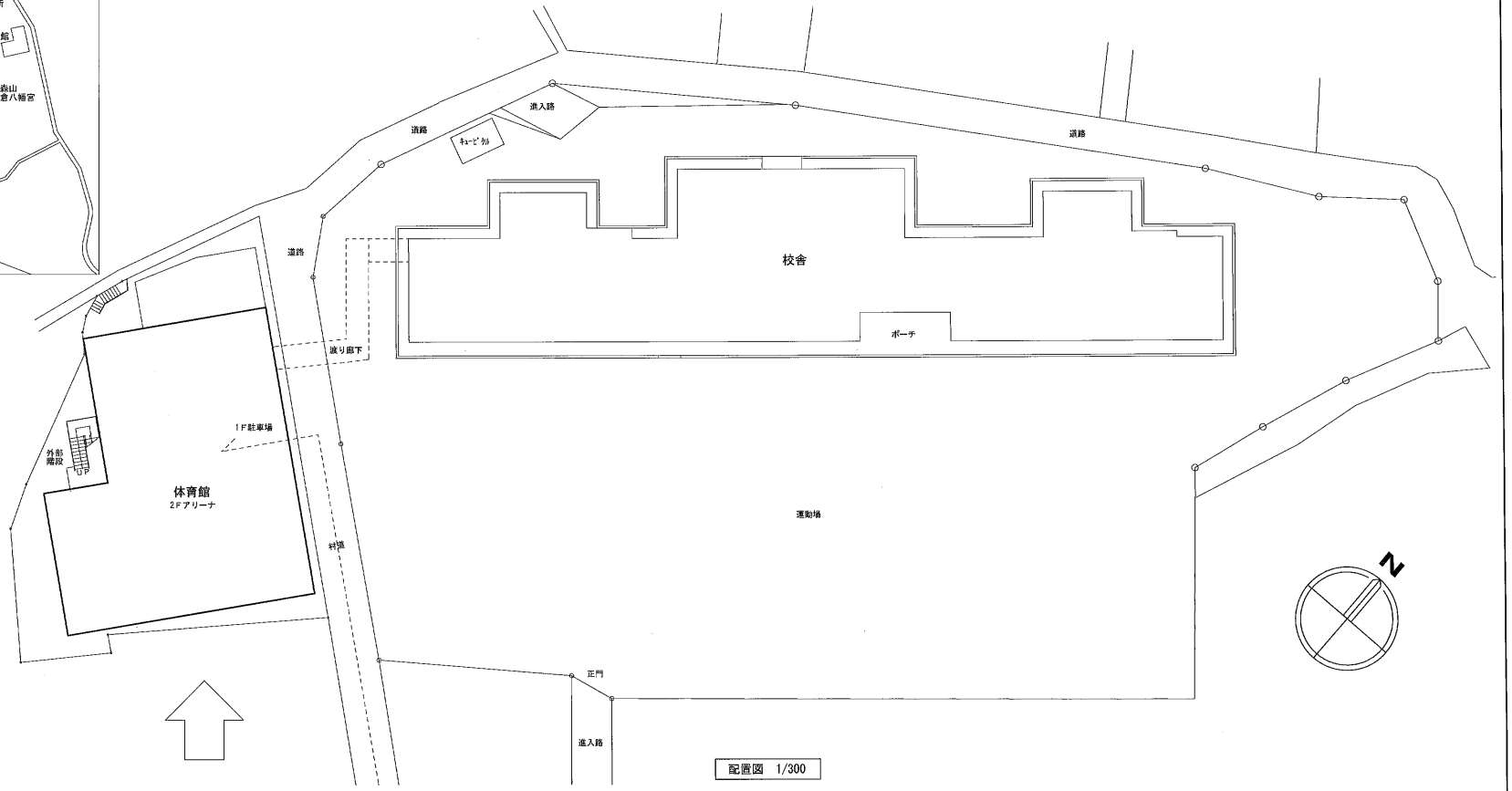
仁淀川町
（株）ＭＡ設計事務所

工事概要

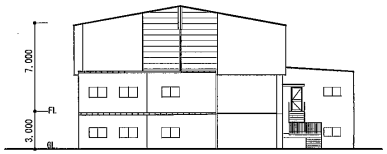
体育館アリーナ空調機新設
室内空調機7台及び室外機7台新設
上部天井ｴｱｰｽｲﾝｸﾞﾌｧﾝ6台新設
同上空調機工事に伴う配管工事・取付工事・電気設備工事
天井点検口新設
作業用仮設足場及び床養生等



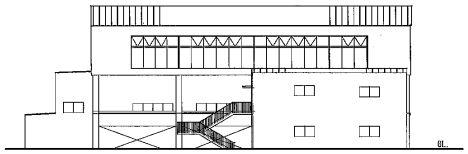
付近見取図



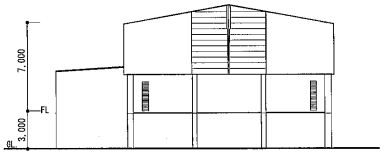
配置図 1/300



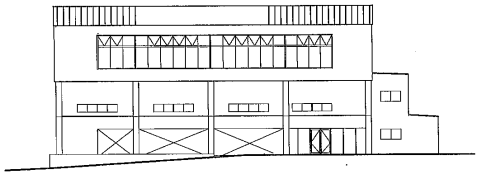
北面立面図 1:300



西面立面図 1:300



南面立面図 1:300


東面立面図 1:300

立面図 1/300

Special note
introductory remarks

M A 設 計 事 務 所 MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE 1級建築士 登録第298514号 岩原英和	仁淀川町立別府小学校屋内運動場空調設備整備工事			設計概要 付近見取図 配置図 立面図
	date NO 2663 2025・7	drawn by 植田 司	checked by 岩原英和	scale 1/300

共通
01

特　記　仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1.　工事場所　高知県吾川郡仁淀川町森2457

2.　建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積	
別府小学校体育館	S造	2 階建	997.67m2	

（注）延べ面積は建築基準法による表記

※施工条件　本工事は週休二日制、かつ発注者指定型とする。

3.　工事種目

建物別及び屋外 ＼ 工事種目	体育館			
電灯設備	○			
動力設備	○			
受変電設備				
自家発電設備				
避雷設備				
非常灯設備	○			
構内交換設備	○			
インターホン設備				
テレビ共聴設備				
電気時計設備				
放送設備	○			
太陽光発設備				
トイレ呼出表示設備				
火災報知設備				
外灯設備				
構内線路				

Ⅱ　工事仕様

1.　共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成３１年版（ただし、改修工事の場合は公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）平成３１年版）及び電気設備工事標準図（平成３１年版）による。

2.　特記仕様

1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2）特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。

項目	特記事項
① 機材	設備機材等指定表による。
② 工事用電力,水,その他	本工事に必要な工事用仮設電力、水などの費用は請負者の負担とする。 官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。 自家用電気工作物保安管理業務委託先 ・四国電気保安協会　・中央電気保安協会　・（） 構内に作ることが　・できる　⊙できない
③ 工事用仮設物	次のものは原則として再生クラッシャランを使用する。 （屋外キュービクル基礎・外灯基礎・ハンドホール等の砂利地業）
4 建設副産物	アスファルトは原則として再生品を使用する。 工事に伴い発生するコンクリート塊・アスファルト塊は原則として再資源化を図る事。
5 建設発生土の処理	※構外搬出　・・・　処理場所（　　） 所在地　（　　）　距離（　　）km その他　上記運搬距離を想定し積算しているが、処理場所については受注者が選定した候補地を参考に発注者が決定する。なお距離が変更となった場合は変更する。 ・構内指定場所に敷き均し　・構内指定場所に堆積
⑥ 産業廃棄物の処理について	高知県土木部建築課　特記仕様書（共通編）「産業廃棄物の処理について」によること。
⑦ 他工事との取り合い	はり貫通部のスリーブ及び補強　スリーブ　※本工事　・別途工事 補強　※別途工事　・本工事 自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアーチェック、フロアーヒンジ ※別途工事　・本工事 天井埋込型器具の取付箇所の下地の切込み及び補強　※別途工事（墨出しは本工事）　・本工事 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地の切込み及び補強　※本工事　・別途工事 埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強　仮枠　※本工事　・別途工事 補強　※別途工事　・本工事 照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート　※本工事　・別途工事 屋内の電気室、自家発電室などの基礎、防油堤、ピット（ふたを含む）※別途工事　・本工事 屋外の受変電設備基礎　※本工事　・別途工事 動力機器（電動機など）への接続　※本工事　・別途工事 電話保安器用接地　※本工事　・別途工事 図中に記載されていない工事区分は、別紙工事区分表による。
⑧ 電線類	EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 耐火ケーブル(FP)及び耐熱ケーブル(HP)はシースに耐燃性ポリエチレンを用いたものとする。
⑨ 呼び線	長さ１m以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
⑩ フラッシュプレートの材質	・樹脂製　・鋲金属　・ステンレス
⑪ ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄの用途別表示	シール等を貼付する。
12 接地極	下記による。 接地の種類／記号／接地抵抗値／接地極 共同接地／EAED／10Ω以下／EB（14φ）x 3連ー2組 A種／EA／10Ω以下／EB（14φ）x 3連ー2組 B種／EB／150/Is Ω　Is=1線地絡電流／EB（14φ）x 3連ー2組 D種／ED／100Ω以下／EB（10φ）x 1 C種／EC／10Ω以下／EB（14φ）x 3連ー2組 避雷用／EL／10Ω以下／EP x 1 高圧避雷用／ELH／10Ω以下／EB（14φ）x3 連ー2組
13 埋設表示	避雷設備用及び共同接地極の表示　黄銅板製 上記以外の接地極及び地中配線の表示　100m x 300のコンクリート杭に方向種別を彫り込んだものとする。ただし、舗装された場所は鉄製ピンとする。
⑭ 再使用機器	取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうえ取付を行う。
⑮ 絶縁抵抗の測定	工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督職員に提出する。
⑯ 補修など	工事の施工に伴い、既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。
⑰ 屋上・屋側の支持金物	ステンレス製とする。（装柱金物は除く）
18 結露防止	内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。
⑲ はつり・非破壊検査	既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる。 はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行い、施工前に工事監理業務受注者もしくは県建築担当による確認後、施工すること。なお、鉄筋・配管類を切断する恐れがある場合は、事前に監督職員と協議すること。コア抜き施工後は鉄筋切断の有無を工事監理業務受注者もしくは県の担当の立会により確認すること。
20 天井仕上区分	（室名）はスラブ天井を示し、その他は二重天井とする。
㉑ 配線器具	タンブラスイッチは大角型連用形とする。 壁付コンセントは原則として大角型連用形とし、連用形以外はプラグ付とする。 単相200V、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電源等の表示を行う。
22 LED照明器具	グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）の判断基準適合品とする。
23 照明器具の接地	ケーブルの一心を接地線として使用する場合は、緑色の心線とする。
㉔ 照明器具用位置ボックス	ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。 ケーブル配線で照明器具が送り端子付のもの（定格電流15A以上）及び配線が末端となるものは位置ボックスを設けなくてよい。
25 非常用照明器具の照度測定	設置した各部屋2箇所以上
㉖ 分電盤分岐回路	分岐用配線用遮断機はJIS協約形２Ｐ５０ＡＦの１Ｐサイズとする。
27 テレビ共同受信設備	分岐器、分配器、直列ユニットはＢＳ・ＣＳ共用形（ＢＬ品）とする。　・双方向型 電界強度の測定　・要　・不要
28 構内埋設線路	埋設深さ　特記なきはＧＬ－ 600 以上とする。 地中管路には、管下5cm、管上10cm程度保護砂を入れる。 地中配線には電圧、線路長に関係なく標識シート（ダブル）を管頂と地表面の中間に設ける。
㉙ 耐震施工	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針　２０１４年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。 1）設計用水平地震力 機器の重量［N］に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

【設計用標準水平震度】

設置場所	機器種別	⊙ 特定の施設 重要機器	⊙ 特定の施設 一般機器	・ 一般の施設 重要機器	・ 一般の施設 一般機器
上層階 塔屋及び屋上	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6
地下及び1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6

ただし重要機器のアンカー計算における設計用標準水平震度は全階２．０とする。

【備考】（※1）水槽類は、オイルタンク等を含む。

注：上層階の定義は次による。

２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階

１３階建以上の場合は上層４階

重要機器（・自立配電盤　・防災用発電装置　・直流電源装置　）

（・交流無停電電源装置　・交換機　・自動火災報知受信機）

（・中央監視制御装置　・　・　）

2）設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の２分の１とし、水平地震力と同時に働くものとする。

30 コンクリート工事／骨材

本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。

31 ハンドホール

ハンドホールは現場打ち、ブロックのどちらでもよい。

㉜ 工事・完成写真

写真の撮り方は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領（平成28年版による　工事写真撮影ガイドブック　電気設備工事編　平成30年版」による。

下記のものを監督職員に提出する。工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること。

区分	提出形式	備考
工事写真	A４版カラー印刷 画像データ(JPEG形式) ※上記両方を提出	A４版カラー印刷には、写真内容説明を記入。
完成写真	A４版カラー印刷 画像データ(JPEG形式) ※上記両方を提出	A４版カラー印刷には、写真内容説明を記入。 外観1枚を含む内外6枚程度。 完成検査時に提出。

㉝ 工事完成図

共通仕様書に従った完成図及び保守に関する指導案内書を監督職員に提出する。

A４版　黒表紙金文字製本　1部	※要	⊙ 不要
A３版　２ツ折り製本　1部	※要	・ 不要
CADデータ　CD－R	※要	・ 不要

㉞ 機器取付高

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面の記載のない場合は原則として下表による。

ただし、監督職員の指示により変更することがある。（住宅は別途協議）

名称	測点	取付高(mm)	名称	測点	取付高(mm)
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100	避雷接地用端子箱	地上、床上～中心	800
〃（踊場）	〃	2,500	接地極埋設標	地上～中心	600
〃（廊下）	鎖上端～中心	150	室内端子盤（廊下、室内）	床上～下端	300
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上	接地用端子箱	床上～下端	500
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	子時計、スピーカ	床上～中心	(天井高) x0.9
スイッチ（一般）、アッテネータ	床上～中心	1,300	呼出ボタン（身体障害者用）	〃	900
ｽｲｯﾁ、ｲﾝﾀｰﾎﾝ子機（身体障害者用）	〃	1,100	復帰ボタン（　〃　）	〃	1,800
ｺﾝｾﾝﾄ、電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ、直列ﾕﾆｯﾄ（一般）	〃	300	廊下表示灯（　〃　）	〃	2,000
〃（和室）	〃	150	テレビ機器収容箱	〃	1,800
〃（台上）	台上～中心	150	火報受信機（複合盤）	床上～操作部	800～1,500
ｺﾝｾﾝﾄ（ガス漏れ検知器(LPガス)）	床上～中心	200	火報総合盤	床上～中心	800～1,500
分電盤、制御盤、親時計	〃	1,500 (上端1,800以下)	コンセント（車庫）	床上～中心	800
			ガス漏れ検知器（ＬＰガス）	床上～警報器上端	300
開閉器箱、中間端子盤（EPS、電気室） インターホン、副受信機	〃	1,500	〃（都市ガス）	天井面～中心	(天井面) -200
			引込開閉器箱（低圧）	床上～上端	2,000

備考　（天井高）x0.9は天井高が、2,500～3,000mmの場合に適用する。

㉟ 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策

対象建築材料等	使用制限
① 合板,木質系フローリング 構造用パネル,集成材 単板積層材,ＭＤＦ パーティクルボード,ユリア樹脂板 壁紙,接着材,断熱材 保温材,仕上げ塗材	Ｆ☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
② 塗料	ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする。
③ 木材保存剤 （防腐処理、防蟻処理等）	クロルピリホリス,ダイアジノン,フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④ 内装用接着剤,木工事用接着剤 配管用接着剤,接合剤	1)ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エチルベンゼンを含有してないものとする。 2)フタル酸ジ-n-ブチル,フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
⑤ 家具、書架、実験台、什器 洗面化粧台、流し台	（①②③④の建築材料を使用する場合はＦ☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はＦ☆☆☆又は同等品を使用する。）

室内に関わる材料（上記①～④及び建具,シール材,その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エチルベンゼン,フタル酸ジ－ｎ－ブチル,フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシル,クロルピリホリス,ダイアジノン,フェノブカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

Special note　□
Introductory remarks

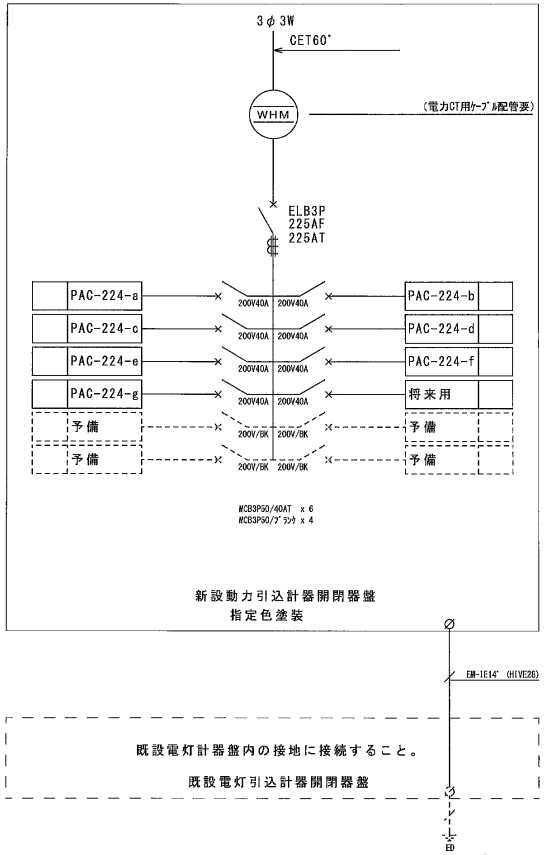
機材名	指定品
電線管類・同付属品	ＪＩＳマーク表示品
電線類等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共工事標準仕様書（電気設備工事編）
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定機関の認定または評価された旨の表示をしたもの
配線器具類	ＪＩＳマーク表示品
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの	ＪＩＳマーク表示品
電磁接触器 JIS C 8201-1,JIS C 8201-4-1 に適合するもの	ＪＩＳマーク表示品
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの	ＪＩＳマーク表示品
指示電気計器 JISC1102（指示電気計器）	ＪＩＳマーク表示品
非常用照明器具	（社）日本照明器具工業会のＪＩＬ適合マークが貼付されたもの
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定証票が貼付されたもの
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ	日本内燃力発電設備協会の認定証票が貼付されたもの
防災電源用直流電源装置	蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの
自動閉鎖装置	連動機構・装置等自主評定委員会の自主評定マークが貼付されたもの
非常放送装置の蓄電池	ＪＥＡ蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの
非常警報装置（非常ベル）	日本消防検定協会の認定証票が貼付されたもの
自動火災報知装置	日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの
構内交換装置	（財）電気通信端末機器審査協会の認定品

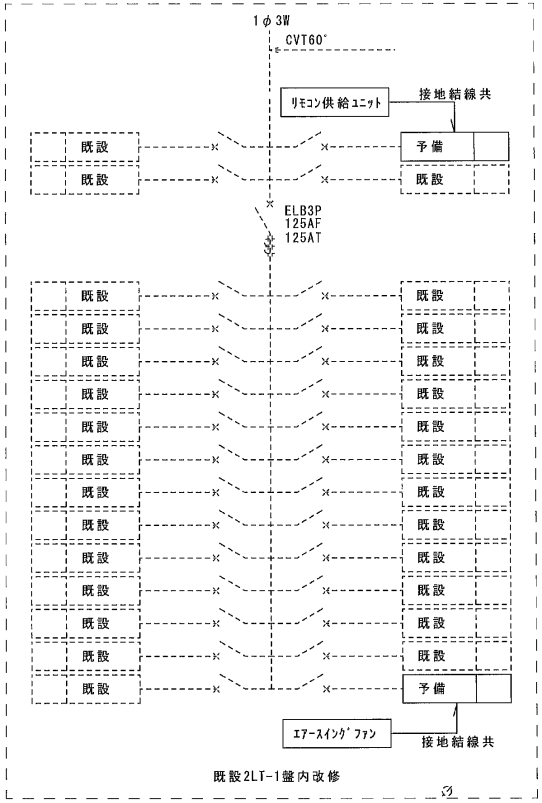
機材名	メーカー名
LED照明器具	（株）因幡電機製作所 岩崎電気（株） （株）遠藤照明 コイズミ照明株式会社 大光電機（株） 東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株） （株）YAMAGIWA 山田照明（株）
照明制御装置	東芝ライテック(株) パナソニック（株） 三菱電機照明(株)
可変速電動機用インバーター装置	（株）日立産機システム 富士電機(株) 三菱電機（株） （株）安川電機
高圧交流遮断機（真空）	東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 日新電機（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 富士電機機器制御(株) 三菱電機（株） （株）明電舎
高圧限流ヒューズ	(株)宇都宮電機製作所 エナジーサポート(株) 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ(株) (株)日立産機システム 富士電機機器制御(株) 三菱電機(株)
高圧負荷開閉器	エナジーサポート(株) 大垣電機（株） （株)新愛知電機製作所 （株）戸上電機製作所 日本高圧電気(株) （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三菱電機（株）
高圧進相コンデンサ ※１モールドコンデンサに限る	（株）指月電機製作所 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） ニチコン（株） 日新電機（株） 三菱電機（株） 利昌工業（株）※１
高圧用変圧器 ※２モールド変圧器に限る	愛知電機（株） 四変テック（株） （株）ダイヘン タカオカ化成工業（株） （株）東光高岳 ※２ 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 日新電機（株） (株)日立産機システム 富士電機(株) 三菱電機（株） （株）明電舎 利昌工業（株） ※２

機材名	メーカー名
蓄電池 ﾍﾞﾝﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ﾆｯｹﾙ・ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙｶﾘ蓄電池	エナジーウィズ株式会社 （株）GSユアサ 古河電池(株)
監視カメラ装置	(株)JVCｹﾝｳｯﾄﾞ・公共産業ｼｽﾃﾑ ＴＯＡ(株) パナソニック（株） 三菱電機(株)
盤類(公共建築工事標準仕様) 分電盤・制御盤 ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式配電盤	（株）イトウテック 共栄電機工業（株） 光電設（株） 日東工業（株） 河村電器産業（株） 上記の他、令和４年版「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿」に掲載されたもの
太陽光発電装置	山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） パナソニック（株） 京セラ(株) (株)安川電機
交流無停電電源装置（UPS）	エナジーウィズ株式会社 （株）三社電機製作所 山洋電気（株） （株）GSユアサ （株）GSﾕｱｻｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 富士電機（株） 古河電池（株） 三菱電機（株） （株）明電舎

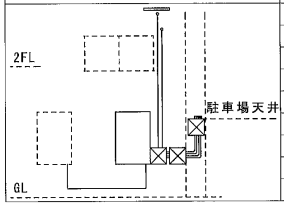
機材名	メーカー名

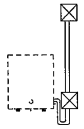
Special note
introductory remarks

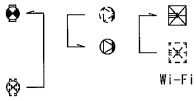




動力引込計器開閉器盤 SUS 指定色塗装

動力引込計器開閉器盤配管接続処理凡例	
接続処理凡例図	
	1次側電源引込ルート
	CET60°(HIVE70)+呼線(HIVE36)+ETC防水処理.引止ﾚｱﾝｸﾞﾙ固定
	2次側電源負荷ルート
	CE8°-4C ×2 ×4ﾙｰﾄ (HIVE54)+防水ﾌﾟﾘｶ処理
	SUSﾀﾞｸﾀｰ2段[端部保護](壁面取合せ)
	接地ルート
	EM-IE8° (HIVE22)
	既設電灯計器盤内の接地に接続すること。
	既設[8220-04-2410]事業者と事前協議をし、工程計画をすること。

室外機接続処理凡例	
接続処理凡例図	
	CE8°-4C (HIVE28)+防水ﾌﾟﾘｶ
	電源接続端子余長を見込むこと。
	(機):接続確認の立会を行うこと
	CEES1.25-2C ×2 (HIVE22)+防水ﾌﾟﾘｶ
	伝送線接続端子渡り配線余長を見込むこと。
	(機):接続確認の立会を行うこと
	※SUSﾀﾞｸﾀｰ[端部保護](冷媒管取合せ)

室内機干渉、器具移設処理凡例	
器具移設処理凡例図	
	室内機干渉、離隔確認し、移設するkと。
	既設位置は新金属ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ取付とする。
	配線材[EM-EEF1.6-3C/EM-AE0.9-3C/LANcat5e等]
	MKﾀﾞｸﾄルートを利用し、撤去再取付すること。
	事前に取付詳細図を提出し、施工すること。
	※ Wi-Fiは、既設配線を流用

Special note
introductory remarks

MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
M A 設 計 事 務 所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士 登録第298514号 岩原英和

仁淀川町立別府小学校屋内運動場空調設備整備工事

data	drawn by	checked by
NO 2663 2025・7	植田 司	岩原英和

分電盤結線図

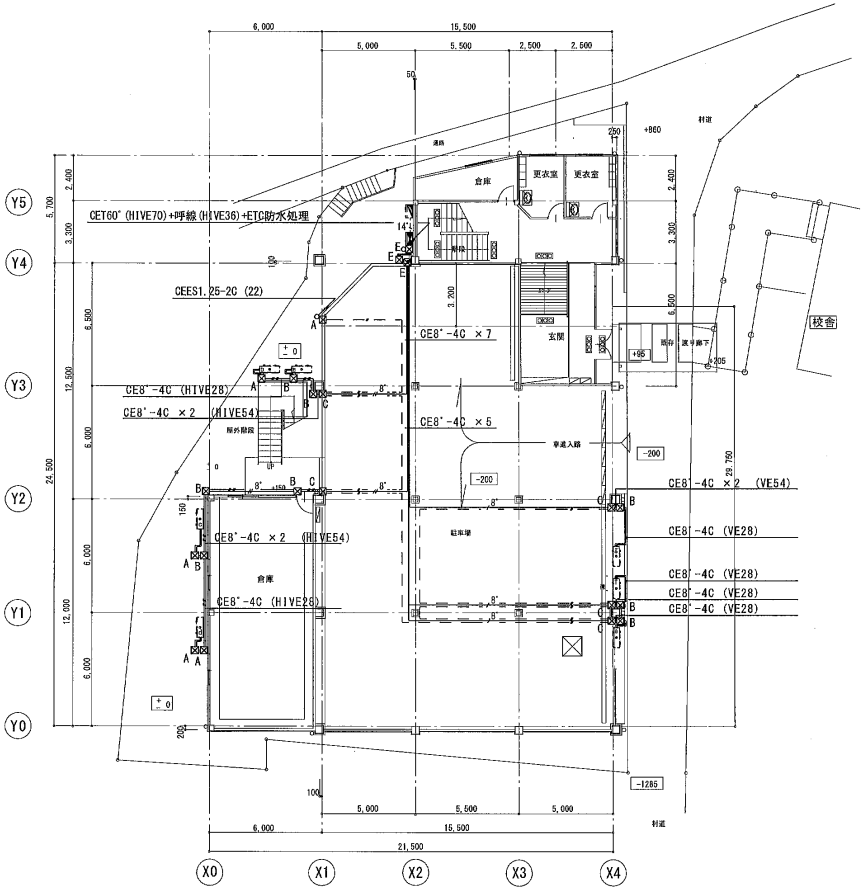
scale 1／

電気

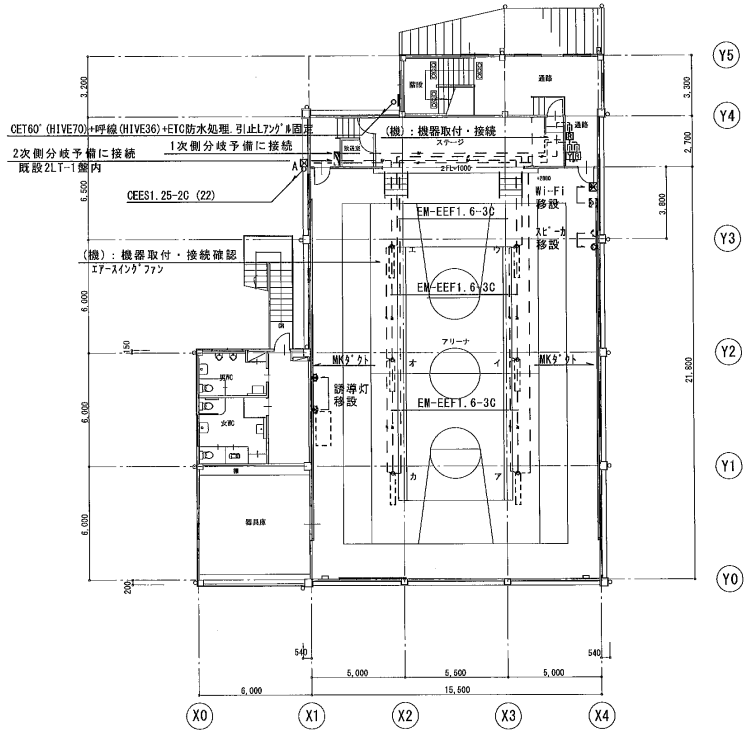
04

特記事項

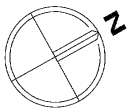
図中、明記のない配線は下記による					
動力設備		新設動力引込計器開閉器盤 SUS 指定色塗装			
〃		CE8゛-4C ×2 (HIVE54)	露出	SUSﾀﾞｸﾀｰ ﾀﾞｸﾀｰｸﾘｯﾌﾟ等.固定	
〃		CE8゛-4C (HIVE28)	露出	SUSﾀﾞｸﾀｰ ﾀﾞｸﾀｰｸﾘｯﾌﾟ等.固定	
〃		CE8゛-4C ×2	隠ぺい	天井内離隔確保	
〃		CE8゛-4C	隠ぺい	天井内離隔確保	
〃		CEES1.25-2C ×2 (HIVE22)	伝送線	露出	
〃		CEES1.25-2C (PF/HIVE22)	伝送線	隠ぺい/露出	
〃		IE14゛ (HIVE28)	露出	SUSﾀﾞｸﾀｰ ﾀﾞｸﾀｰｸﾘｯﾌﾟ等.固定	
電灯設備		既設電灯引込計器開閉器盤			
〃		EM-EEF2.0-3C	隠ぺい		
〃		MKﾀﾞｸﾄ80-100 18m× 2ﾙｰﾄ 器具移設用(空調冷媒管ﾙｰﾄ共用)配線改修			
⊠A	防水ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 新設	樹脂製150x150x150			
⊠B	防水ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 新設	樹脂製200x200x150			
⊠C	防水ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 新設	樹脂製300x300x200			
⊠E	防水ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 新設	SUS製 400x400x400接地端子付			
側面、底下支持金具(SUS製)間隔は1000mm以下とし,プルボックス間には伸縮継手を使用する事。					



配置図 1階平面図 1:200



2階平面図 1:200



Special note
introductory remarks

M A 設 計 事 務 所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士 登録第298514号 岩原英和

仁淀川町立別府小学校屋内運動場空調設備整備工事

date	drawn by	checked by
NO 2663 2025・7	植田 司	岩原英和

1階2階動力・電灯他設備図

scale 1／200

電気 05

特　記　仕　様　書　（１）

工事名称　仁淀川町立別府小学校屋内運動場空調設備整備工事
設計年度(設計図)　令和　7年度
工事期間(完成図)令和　年　月　日～令和　年　月　日
工事場所　高知県吾川郡仁淀川町森2457

様名	構造	階数	延床面積（m2）	用途地域	消防法施行令別表第一の区分
体育館	S造	2階建 戸数 1	997.67m2	指定なし	

Ⅰ　共通事項

種	項	目　　特　　記　　仕　　様　（※及び○印をつけたものを適用する）
一般共通仕様	適用仕様	※ 特記なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 令和４年版)」(改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 令和４年版)」)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 令和４年版)」による。 ※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　「工事写真撮影ガイドブック　機械設備工事編」
	スリーブ	※ 国土交通省仕様 (例：外壁の地中部等 水密を要す部分はツバ付鋼管スリーブ等。地中部分で水密を要しない部分はVUスリーブ。柱,梁以外の箇所で,開口補強が不要でスリーブ径200mm以下は板スリーブでもよい。)
	機器類	○ 国土交通省仕様　● メーカー仕様
	区画貫通処理	※ 区画貫通処理の必要な箇所については、箇所別に設置場所・設置状況が確認できる記録を写真及び図面等で残す。
	耐震措置	※「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成８年度版」(建設大臣官房官庁営繕部監修) によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」(国土交通省国土技術政策総合研究所 ・独立行政法人建築研究所監修　2014年版）による。 建物の種別：　● 特定の施設　　○ 一般の施設　　地域係数：　１．０ 1)設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。 特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。 2)設計用鉛直地震力は設計水平地震力の１／２とする。 重要機器 防災機器 火を使用する機器 タンク類 消火設備機器

設置場所	機器種別	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階	機　器	2．0	1．5	1．5	1．0
屋上及び塔屋	防振機器	2．0	2．0	2．0	1．5
	水槽類	2．0	1．5	1．5	1．0
中層階	機　器	1．5	1．0	1．0	0．6
	防振機器	1．5	1．5	1．5	1．0
	水槽類	1．5	1．0	1．0	0．6
地階・1階	機　器	1．0	0．6	0．6	0．4
	防振機器	1．0	1．0	1．0	0．6
	水槽類	1．5	1．0	1．0	0．6

機器の固定	※ 基礎のアンカーボルト・吊り基礎ボルト・吊り金物及び防振を施す機器類の取付けボルトは、ロックナット又は2重ナットにて固定する。 注）ナットに対するボルトの余長は３山以上を標準とする。 ※ 機器の固定に使用する金属系アンカーはスリーブ打込み式または、ウエッジ式とする。(県標準図１６)　※ ケミカルアンカーは、天井方向に使用しない。 ※ 防振架台を設置する場合、耐震ストッパーの調整を製造者の指定どおりに行うこと。
配管の支持	※ 一般土間コンクリート下部配管は耐触性のある吊りボルト（亜鉛ドブ漬又はステンレス製）にてスラブ筋に支持する。 ※ 屋外及びピット内配管の支持金物・吊り金物は亜鉛ドブ漬又はＳＵＳ製とする。屋内外露出部には既製品支持架台は使用しない。 ※ 仕様のとおりに吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振れ止めを適宜設ける。
ねじ接合材	ねじ接合材使用区分表

流体種別	給水				給湯			冷温水			
管材等種別	ｽﾃﾝﾚｽ管	ﾗｲﾆﾝｸﾞ管	水栓金具	弁類	ｽﾃﾝﾚｽ管	ﾗｲﾆﾝｸﾞ管	弁類	ｽﾃﾝﾚｽ管	ﾗｲﾆﾝｸﾞ管	鋼管	弁類
テープシール材			(イ)								
ペーストシール剤	(ロ)			(ロ)	(ロ)		(ロ)	(ロ)			(ロ)
		(ハ)				(ハ)			(ハ)	(ハ)	

（テープシール材）	※（イ）　テープシール材は、JIS K 6885（シール用四ふっ化エチレン樹脂未焼成テープ(生テープ)）によるものとする。 注）水栓類は、防食シール材を用いない。テープシール材を使用する。
（ペーストシール剤）	※（ロ）　一般用ペーストシール剤は、管内の流体に溶出せず、使用目的に適する成分のものとする。 ※（ハ）　給水用、給湯用及び冷温水用の防食用ペーストシール剤は、JWWA K 161（水道用ライニング鋼管用液状シール剤）に規定する水道用シール剤とする。 注）水道用シール剤において JWWA K 161 に適合している主なペーストシール剤は下記による。 ステンレス鋼管等防食の必要がないネジ部には水道用シール剤（ロ） （例：日本ヘルメチックス株式会社のヘルメシール 403・株式会社ヘルメチックのHERMETIC F-119・山王工業株式会社のヘルメチック No,AO-9など） ライニング鋼管に使用する防食用ペーストシール剤（ハ） （例：日本ヘルメチックス株式会社のヘルメシール55・88・403・株式会社ヘルメチックのHT-Seal F-109・山王工業株式会社のヘルメチックNo,AO-9など）
弁類	※ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は呼び径５０以下は青銅製、呼び径６５以上はステンレス製とする。
サヤ管工法	※ サヤ管工法で施工する場合、サヤ管施工後に配管挿入を行うこと。（同時施工を行わない。）
埋設深さ(管上)	○ 一般敷地３００mm以上　　○ 車両通路６００mm以上　　○ 公道８００mm以上　○ 公道１，０００mm以上　○公道１，２００mm以上。
埋設管の保護	○ 埋設管は周囲１００mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。 ○ 量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。
石綿含有品	※ 石綿含有分析調査　　○木工事　　○別途　　○無し アスベスト含有品（ガスケット、パッキン、たわみ継手、保温材、天井材等）は関係法令に従い適切に処理を行う。
建設発生土の処理	※ 構外搬出 処理場所（　　）所在地（　　）距離（　　）km その他　建設発生土の搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ○ 構内指定場所に敷き均し　　○ 構内指定場所に堆積
建設副産物	※ アスファルト、アスファルト路盤は原則として再生品を使用する。 ※ 浄化槽・桝類の砂利地業は原則として再生クラッシャランを使用する。(アスファルト再生品混じりは不可)
ｺﾝｸﾘｰﾄ工事／骨材	※ 本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。
はつり・非破壊検査	※ はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。 なお、『コア抜き・はつり工事チェックリスト』を作成し段階確認を行って施工する。
総合調整	※ 下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。（測定場所等は監督職員の指示による。） ○風量調整　○水量調整　●室内外空気の温湿度の測定　○騒音の測定　○室内気流及びじんあいの測定
技能士の適用	○ 配管施工(配管工事)　○ 熱絶縁施工(保温工事)　○ 建築板金施工(ダクト製作及び取付)　○ 冷凍空気調和機器施工　○ その他
完成後の提出物	完成図　※ CADデータをCD-Rに保存して提出。※ 画像データ(PDF形式)　・ Ａ４版黒表紙金文字製本 １部　・ ２ツ折りＡ３版製本 １部 施工図　○ CADデータをCD-Rに保存して提出。○ 画像データ(PDF形式) 工事管理資料(写し)　※ フラットファイル等に閉じたもの。 工事写真　※ フラットファイル等に閉じたもの。 工事日誌　※ フラットファイル等に閉じたもの。 工具類　○ マンホールフック　○ 制水弁ハンドル　○ 掃除口ハンドル

室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策	対象建築材料等	使用制限
	① 合板，木質フローリング，構造用パネル，集成材，単板積層材，ＭＤＦ，パーティクルボード，ユリア樹脂板壁紙，緩衝材，断熱材，保温材，仕上げ塗材	Ｆ☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
	② 塗料	ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，スチレン，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。
	③ 木材保存剤(防腐処理、防蟻処理等)	クロルピリホリス，ダイアジノン，フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
	④ 内装用接着剤，木工事用接着剤，配管用接着剤，接合剤	1）ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，スチレン，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを含有してないものとする。 2）フタル酸ジ-n-ブチル，フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
	⑤ 家具，書架，実験台，什器，洗面化粧台，流し台	①，②，③，④の建築材料を使用する場合はＦ☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はＦ☆☆☆又は同等品を使用する。

室内に関わる材料（上記②～④及び建具，シーリング材，その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，スチレン，トルエン，キシレン，エチルベンゼン，フタル酸ジ-n-ブチル，フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシル，クロルピリホリス，ダイアジノン，フェノブカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

配管材料

① 配管用炭素鋼鋼管 【SGP黒管】(JIS G 3452)
② 配管用炭素鋼鋼管 【SGP白管】(JIS G 3452)
③ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VA】(JWWA K 116・WSP 011)
④ 水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VD】(JWWA K 116)
⑤ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 【SGP-PA】(JWWA K 132・WSP 039)
⑥ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 【SGP-VS】(WSP 041)
⑦ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-HVA】(JWWA K 140)
⑧ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304 TPD】(JIS G 3448)
⑨ 配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304】(JIS G 3459) ・・・60A以下は拡管式
⑩ 水道用ダクタイル鋳鉄管 【3種管】(JWWA G 113)
⑪ 銅管 【M】(JIS H 3300)
⑫ 外面被覆銅管 【M】(JIS H 3330)　給湯
⑬ 耐熱性硬質塩化ビニル管 【HTVP】(JIS K 6776)
⑭ 水道用硬質塩化ビニル管 【VWP】(JIS K 6742)
⑮ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 【HIVP】(JIS K 6742)
⑯ 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-VP】(JWWA K 127)
⑰ 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-HIVP】(JWWA K 129)
⑱ 水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6762)
⑲ 水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K 144)
⑳ 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769)
㉑ ポリブデン管 (JIS K 6778)
㉒ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【D-VA】(WSP 042)
㉓ 排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管 (WSP 032)
㉔ 排水用鋳鉄管 【メカニカル形2種管】(JIS G 5525)
㉕ 鉛管(HASS 203)
㉖ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VP】(JIS K 6741)
㉗ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VU】(JIS K 6741)
㉘ 排水・通気用耐火二層管 【内管VP】
㉙ 鋼形管 【ゴムリング】(JAWAS K-3)
㉚ プレキャスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372)　ヒューム管
㉛ 硬質塩化ビニル被覆鋼管【ガス】(JIS G 3452原管) 白
㉜ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774)
㉝ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】
㉞ 断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保温材】(JCDA 0009)　冷媒
㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管（日本消防設備安全センターの性能認定取得品）
㊱ 空調用保温材付ドレン管【ポリエチレン保温材 NDD・MDP同等】（内管JIS規格品）
㊲ -
㊳ -
㊴ -
㊵ -

管種使用区分

工種＼場所	屋内一般	屋内ピット	屋内コンクリ	屋内土中	屋外埋設	屋外架空	
給水（直圧）							
給水（一般）							
汚水							※125A以上の地中埋設は ㉗ とする。
雑排水							※125A以上の地中埋設は ㉗ とする。
通気							
ガス							
消火							
給湯							
器具接続							
冷温水							
冷却水							
中水							
冷媒	㉞					㉞	
空調ドレン	㊱					㊱	

塗装・防食

※ 亜鉛メッキ面の塗装下地は化学処理(エッチングプライマ)を施す。
※ 鋼管類のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。
※ 土中埋設する鋳鉄管、鋳鉄異形管(メカ型継手共)及び特殊継手類はポリスリーブ巻きとする。
○ 居室等に露出して使用する配管支持金具類（電気メッキ品）は塗装（さび止めペイント・中塗り・上塗り）を施す。
※ 下記の露出配管、ダクト（ダクト構成部材含む）、電線管、フード類の塗装を行う。
屋外：　○ドレン管（指定色塗装）　○金属電線管（指定色塗装）
屋内：　○ダクト　（指定色塗装）　○金属電線管（指定色塗装）　○フード類（指定色塗装）

保温・防露

工種＼場所	屋内露出	機械室・倉庫	天井・PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考
給水	a1（ ）Ⅶ	b（ ）Ⅶ	c1（ ）Ⅶ	d（ ）Ⅶ	e2（ ）Ⅶ+ヌ	（ ）	
排水・空調ドレン		b（ ）Ⅶ	c（ ）Ⅶ				
給湯	a（ ）Ⅰ	b（ ）Ⅰ	c（ ）Ⅰ	d（ ）Ⅰ	e2（ ）Ⅰ		
冷水・冷温水管	A(ロ)Ⅲ	B(ロ)Ⅲ	C1（ ）Ⅲ	D（ ）Ⅲ	E2(ロ)Ⅲ		
冷媒管	(チ)ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝﾀﾞｸﾄ	(チ)	(チ)	（ ）	ｽﾍﾟﾝｼｮﾝﾀﾞｸﾄ		
矩形ダクト	J_1（ ）XI	I（ ）XI	I（ ）XI		K2（ ）XI		
スパイラルダクト	O_1（ ）XI	N（ ）XI	N（ ）XI		P2（ ）XI		

(イ)ロックウール保温材	(ニ)簡易保温筒10mm	(ト)簡易耐熱保温筒20mm	(ヌ)ガルバリウム鋼板
(ロ)グラスウール保温材	(ホ)簡易保温筒20mm	(チ)冷媒用被覆銅管	(ル)カラーガルバリウム鋼板
(ハ)ポリスチレンホーム保温材	(ヘ)簡易耐熱保温筒10mm	(リ)SUSラッキング	(ヲ)ー

● フレキシブルジョイントは配管に準じた保温・ラッキングを施す。
※ 器具類（洗面化粧台・給湯器・温水器等）と接続するステンレスフレキは簡易保温筒にテープ巻きを施すこと。

表示

※ 配管表記
①機械室・ピット・PS内・天井点検口付近には必ず表記する。
②表記内容は、流体・サイズ・系統名とする。
③場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。
※ 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート・ペンキ等にて表記(管理番号・室名・設置年月等)を行う。なお、該当する主要機器を事前確認する。
※ パッケージエアコン等の空調機は、室内外機に表記を行う。(県標準図１３)
※ 水中に設置するような各種主要機器類（水中ポンプ等）は銘板を盤付近にも設ける。（製造者名、製造年月、形番、性能等を順記する。）
※ 屋外に設置するバルブ札は固定するか、表示方法を協議する。
※ バルブBOX内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。
※ 埋設バルブボックスの蓋の向きは流体の行き先側に蓋の付根を向ける。
※ 排水以外の屋外埋設管には曲・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように標示鋲(標示柱は県標準図８)を設ける。
※ 配管の埋戻し時は、GL-200mm程度に埋設表示用アルミテープ(M)を埋設する。(排水・通気管を除く)

発生材の処理

○ 引渡しを要するもの（　　）
○ 現場において再利用を図るもの（　　）
※ 再生資源化を図るもの　・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　・建設発生木材　※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。
※ 発生材搬出時の写真記録の方法は特記仕様書(共通編)による。

Special note
introductory remarks

特　記　仕　様　書　（２）

Ⅱ　工事種目

衛生器具設備	取付位置	※ 衛生器具及び周辺機器類の取付位置は総合図・展開図等を作成して、確認後に取付けること。 （特に、便器類と手すり・便器類と操作ボタン類・操作ボタン類と手すり等の位置関係に注意）
	大便器	※ 和風大便器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布（３mm以上）とする。（県標準図１） ※ 和風大便器を防火区画に設置する場合、和風便器用耐火カバーを設ける。
	化粧鏡	※ 化粧鏡取付にあたっては落下破損防止のため、裏面シール材等による張付にて取付などの処置を施す。
	流量調整	※ 小便器・大便器等の手動フラッシュ弁流量調整は、下記の流出時間を目安とする。ただし、衛生器具のマニュアル等に記載があれば内容に準ずること。 大便器　8～10秒　　小便器　8～10秒　　自閉式水栓　7秒
	洗濯機パン	※ 洗濯機パンを設置する床面は、耐荷重性と平滑性に注意する。
	シール（コーキング）	○ 器具類と壁・床のシール（コーキング）打ちは右記の表による。

機器種別	設置場所の床が湿式(防水)		設置場所の床が乾式(非防水)	
	壁	床	壁	床
洋風便器	―	不	―	不
洗面器類	不	―	要	―
掃除流し	不	―	要	不
洗濯流し	不	―	要	不
洗濯パン	―	―	要	不
ステンレス流し台	要	不	要	不
化粧棚	不	―	要	―

壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど
電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。

給水設備	負担金	○ 不要　○ 要（　　　　　　　　）
	弁類	※ 直圧給水弁は水道事業者の指定品（指定のない場合は、二次側給水に準じた弁） ※ 二次側給水弁(土中)：40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁(内面ライニング) ※ 二次側給水弁(一般)：40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鋳鉄製Ｆ付き内面ライニング弁5K
	継手類	※ 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側砲金内ねじ形とする。 ※ ユニットバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をする。 ※ ビニル管とライニング鋼管の接続には水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。 ※ ＴＳバルブソケットは金属製（砲金）おすネジを打込しているものを使用する。
	バルブボックス	※ 水道事業者の指定がない場合の埋設弁のボックスは、県標準図５・６による。
	隠蔽部の保温	※ 給水管の細部保温は特記なき場合は下記の通りとする。壁中等で仕様書通りの施工が困難な場合は監督職員の指示により保温を施す。 空間の有る壁中配管　→　要　　流し下の空間配管　→　要
	既設給水鋼管への接続	※ 改修工事等で鋼管類（ライニング鋼管）を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、鋼管類の切断部の防錆処理として、JWWA K 135規格適合品（エポキシ系DEVCON-SF等パイプライニング用)にて処置する。ただし、コア一体型管端防食タイプソケットRC-LA型㈱リケンを使用する場合は処理不要とする。）
	水槽類の施工手順	※ 水位設定の協議後に、水位高さ入り施工図を作成し発注・施工を行う。なお、県標準図４を参考とし水位高さを協議する。
	水槽類の衛生管理	※ 受水槽・高架水槽を新設（改修等含む）施工する場合は、清掃・消毒等後に水張りを行う。
	引渡前の水質の管理	○ 残留塩素濃度の測定を行う。（端末において0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う。） ○ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく水質検査（11項目）について行うこと。採水場所は指定の箇所で（　1　ヶ所）とする。
排水設備	保護砂　砂利	○ 第１桝以降の屋外ビニル管部分には、保護砂（１８０度台）を要す。 ○ 遠心力鉄筋コンクリート管部分には砂利台を要す。
	樹脂製排水桝	※ 防護蓋を設置する場合は県標準図７による。
	衛生器具等の接続	○ 洗面器等の排水金具と専用の排水アダプタでビニル管に接続できない場合、VCパッキンを使用する。 ※ 既製流しの排水金具に使用しているジャバラホースはそのまま使用せず、VP配管直結（VCパッキンでも可）とする。県標準図５による。 ○ 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。（但し平屋建は不要とする。）
	排水管の防露	※ 空間のある壁中配管・集合住宅等のスラブ上配管・受水槽他水槽からドレンバルブまで→必要　　流し台下空間配管・実験台等への立ち上がり露出配管→不要
	排水管の試験等	○ 満水試験　○ 通水試験　○ 鏡確認
	その他	※ 洗濯機排水金物の床貫通部等は共住区画に適合する処理を施す。
消火設備	消火栓箱	○ 消火栓箱は（○県標準図１２ ○国土交通省仕様 ○メーカー仕様） ○ 共住区画の消防検査受検必要
給湯設備	弁類	○ 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス鋼弁10K
	絶縁対策	※ 銅管及びステンレス配管は支持金物との絶縁処理を行う。 ※ 鋼板製ボイラー及び鋼管との接続等、異種管との接続には絶縁継手を使用する。
	給湯管の保温	※ 給湯配管に簡易保温筒（クイックチューブ）を使用する場合は耐熱性のものを使用する。 ※ 被覆銅管の継手カバーは保温付きのものを使用する。 ※ 給湯器の配管化粧カバー内は凍結破損防止を考慮した保温（簡易保温筒）施工を行う。
	大気汚染対策	○ 排ガス監視装置を要す。　○ ばい煙濃度測定口を要す。
ガス設備	ガス集合装置	※ ガス集合装置は県標準図９・１０・１１を参照し、漏洩検知装置・耐震遮断装置・転倒防止金具等の必要有無に注意する。
	給湯器用止水弁	※ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用する。
	その他	※ ガス用フレキ管とガスコック等（ヒューズコック）との接続は、コック等の固定が出来る部材等を使用して接続する。 ※ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。 ※ ボンベ支持クサリ用のアンカーボルトは、10mm以上のもので、下記のいずれかとする。 ※ 埋込アンカー・雄ネジ形メカニカルアンカー・接着系アンカー（ケミカルアンカー）なお、チェーン、フックも同様の強度を持つものとする。 ※ 自記記録計によるガス圧テスト表の写しを県に提出し、正本は施工業者で５年間保存する。
浄化槽設備	種汚泥	※ 使用開始時には必要に応じて種汚泥を投入する。
	試運転調整	※ 浄化槽の使用開始後おおむね３ヶ月間の試運転調整を行うもので、浄化槽法による「保守点検及び清掃等」を行うほか下記の事項を言う。 １ 維持管理を管理業者に引継ぐ場合は直前に水質検査（ＢＯＤ，ＳＳ，ＰＨ，大腸菌，塩素イオン)を行い、そのコピーを維持管理業者、施設管理者、工事監督者に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。 ※ 見やすい場所に型式、施工者名、設置年月、処理能力、放流水質を記入した銘板を設置する。
	その他	※ コンクリート頂版スラブを施工する場合、モルタルの浮き上がり、及び、水たまりが出来ないように仕上げ勾配に注意する。 ○ 補助金申請設備
空気調和・換気設備	空調機器の仕様	※ グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成十二年法律第百号)）の判断基準適合品とする。 なお、パッケージ及びマルチエアコン等については、各メーカーの最高効率機種とする。 ○ 屋外機はJRA耐重塩害仕様とする。　○ 屋外機は耐塩害仕様とする。　● 図示
	パッケージエアコン等	※ パッケージエアコン屋内機の施工については県標準図１３を参考にして注意する。 ● 天カセ形室内機の取付等による天井の開口及び補強・補修を行う。（建築工事標準詳細図参照） １）補強野縁は野縁と、補強野縁受及び取付け用補強材は野縁受と同材とする。 ２）野縁受のはね出しが300mm以上の場合は、増し吊りを設ける。 ※ 室外機には設置場所を問わず、溶融亜鉛メッキ製またはSUS製の転倒防止金具もしくは転倒防止ワイヤーを設ける。
	自動空気抜き弁装置	○ 不要　○ 要（　　　　）ヶ所　自動空気抜き弁にはＧＶ及びストレーナーを取付ける。
	冷媒配管のラッキング	※ 配管ラッキング（溶融アルミニウム－亜鉛鉄板・配管化粧カバー）は室外機の直近まで施す。 ※ 配管樹脂化粧カバー(スリムダクト)も室外機の直近まで施す。なお、屋外スリムダクト最終部は閉塞処理を行う。(コーキング処理、またはエンドキャップ処理) (フリーコーナー(ジャバラ)は使用しない。)
	ダクト	○ アルミフレキ（不燃材料認定品）　○ ステンレスフレキ（不燃材料認定品）
	消音内貼り	※ 内貼りチャンバの寸法表示は、外法寸法とすること。サプライチャンバにはその上に鋼きっ甲金網押えを行う。 ※ 消音材はグラスウール(吹出口チャンバー･吸込口チャンバー･レターンチャンバーは25mm厚,サプライチャンバーは50mm厚)とし､ガラスクロス押えとする。
	厨房等の排気フード	※ 排気フードは、SUS430製とする。（1.0mm厚） ※ フィルターは分解掃除が出来るものにする。 ※ 黄銅製コックは20mmのものとする。（キャップ止でもよい） ※ 火器使用機器が確定後にフードの形状寸法を変更して、投影面積が変わる場合はフードの面風速もチェックする。 （参考：フードの面風速は一般的に0.3m/sとして設計している。）
	送風機(大型)	※ 送風機の機器表にファンの番手（#）を明記している場合、小さい番手にしない。
	エアコン類の電気工事	※ エアコン設置に必要な一次側電源送り以降の、室内外渡り電源線、制御線、アース(CE2sq/4C・CE3.5sq/4C程度）を要す。 ※ ﾘﾓｺﾝ線はEM-AE0.9mm/2C～3C、又はVCTF0.75sq/2C～3Cとする。（但し延長が10m以下のﾘﾓｺﾝ線は機器付属品でもよい。） ※ 室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートを施工する場所は同保温外装内に納める。（電源・制御配線の最低離隔距離は機器メーカーの基準に準ずる。） ※ 表示窓の付いたリモコンの取付場所は視認性の良い高さ（1,300～1500h）照明ＳＷの上を標準とするが、総合図で充分打合せ調整を行う。
	防振ハンガー	※ 防振ハンガーの設置判断基準は県標準図１４による。
	耐震対策措置	※ 震災後の設備機能確保を図る実務的設備耐震対策措置は県標準図１５による。
	機器付属の制御盤	※ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の盤の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。
	大気汚染対策	○ 排ガス監視装置を要す。　○ ばい煙濃度測定口を要す。
工事別途	別途工事	○ スリーブ、箱入れの補強筋　○ ガラリ　○　○ ○ 天井および壁貫通に対する下地補強　○ プロパンボンベ庫　○　○

Ⅲ　材料メーカー表

材　料	材　料　メ　ー　カ　ー
衛生陶器	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業
水栓金具類	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業、三栄水栓
ＦＲＰ水槽	三菱、日立、積水
うず巻ポンプ	荏原、日立、ﾃﾗﾙ、川本
水中モーターポンプ	荏原、日立、ﾃﾗﾙ、川本、鶴見
汚水・汚物ポンプ	荏原、日立、ﾃﾗﾙ、川本、鶴見、新明和
電気温水器	四変テック、ユパック、日本電熱、東芝、パナソニック、三菱、日立
厨房機器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン
小型鋼板ボイラー	巴、昭和、愛知、ネポン、ヒラカワ
ＦＲＰ膨張タンク	日立化成、三菱樹脂、ホーコス
ルームエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
パッケージエアコン	三菱
エアースイングファン	三菱
エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、日立、木村、東芝キャリア、三菱重工
送風機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業
冷却塔	矢崎、日立、荏原シンワ、空研、日本スピンドル
自動制御機器	アズビル、ジョンソンコントロールズ
ロールフィルター	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ
全熱交換形換気扇	三菱、パナソニック、テラル、東芝、日立、ダイキン
その他	国土交通省仕様適合品

完成後必要な取扱資格者	ボイラ	○ 資格不要　○ 特別教育修了者（小型ボイラ）　○ 講習修了者　○（　）級ボイラ技士
	危険物	○ 資格不要　○ 危険物取扱主任者
	冷凍機	○ 資格不要　○ 第（　　）種冷凍機械作業主任者

	官公庁等	打　合　せ　事　項	確　認　日
給　水			令和　年　月　日
排　水			令和　年　月　日
消　防			令和　年　月　日
浄 化 槽			令和　年　月　日
ガ　ス			令和　年　月　日
そ の 他			令和　年　月　日
			令和　年　月　日

Special note
introductory remarks

ＭＡ設計事務所 MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE 1級建築士　登録第298514号　岩原英和	仁淀川町立別府小学校屋内運動場空調設備整備工事 date NO 2663 2025・7 / drawn by 植田　司 / checked by 岩原英和	機械特記仕様書（2） scale 1／	機械 ０７

改修　空調設備　機器表

記号	名称	機器仕様	APF	電源	数量
PAC 224	空気熱源ヒートポンプ式パッケージエアコン	冷房能力　20.0kW（5.7～22.4kW）　消費電力　6.85kW	4.0以上	3φ-200V	7
		暖房能力　22.4kW（5.6～27.0kW）　消費電力　6.71kW			
		室内機　天吊形　ワイヤードMA型リモコン　ドレンアップメカ			
		振れ止め金具　防振パット			
		室外機　圧縮機　4.6kW　ドレンソケット取付 アクティブフィルター			
		架台（溶融亜鉛メッキ製）、転倒防止金物（溶融亜鉛メッキ製）			
		冷媒配管サイズ　液側φ9.5／ガス側φ25.4　ドレン配管　VP-20			
		室内機固定金物・墜落防止金物（溶融亜鉛メッキ製）			
	三菱	室内機保護カバー（球技等の対策）			
	参考品番　PCZ-ZRMP224B5				
FAN AS	エアースイングファン	消費電力　50.0W	-	1φ-100V	6
		電流　0.51A			
		風量　840m3/h			
		騒音　41.5dB			
		起動電流　0.78A			
		質量　17.4kg			
		固定金物・墜落防止金物（溶融亜鉛メッキ製）			
	三菱	保護カバー（球技等の対策）			
	参考品番　AS-1515SB2				

特記事項

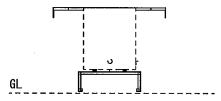
グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）の判断基準適合品とし、R32を採用するメーカーの最高高効率型機種とする。
冷媒にオゾン層を破壊する物質が使用されていない機種とする。
電力送配電事業者と協議の上、必要な対策をとること。空調機器の仕様はメーカー仕様とする。
リモコンでの機能設定は打合せを要する。

特記事項

冷媒配管	エアコン用被覆銅管（化学架橋30倍発泡ポリエチレン製）を使用する。
ドレン配管	空調ﾄﾞﾚﾝ配管は塩化ﾋﾞﾆﾙ管(JIS K 6741)とする。（土間、天井・PS内の50A以上）
	空調ﾄﾞﾚﾝ配管は保温材付ﾄﾞﾚﾝﾊﾟｲﾌﾟとする。（天井・ｽﾘﾑﾀﾞｸﾄ内 40A以下）
	ドレン端末排水は　VP20φにて最寄の竪樋及び最寄りの排水溝に排水する。
配管外装	屋外露出部の配管はｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板ﾗｯｷﾝｸﾞとする。
	屋内露出部の配管は樹脂製配管化粧ｶﾊﾞｰ(球技等の対策)はMKｸﾞｸﾄカラー(ｽﾘﾑﾀﾞｸﾄ等)とする。
	屋外露出のドレン配管は、カラーパイプを使用する。
電気工事	パッケージエアコンの一次側電源送りは電気工事。
	エアコンの室内外渡り電源線、制御線、ｱｰｽ(CE3.5sq/4C等）は本工事とする。
	室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルート施工は同保温外装内に納めること。但し、伝送線は別配管する事、接続は本工事。
	ﾘﾓｺﾝ線はCEES1.25/2C～3Cとする。但し延長が10m以下のﾘﾓｺﾝ線は機器付属品でもよい。
	空調機リモコンスイッチの配管配線・取付結線まで本工事とする。
	リモコンスイッチの取付位置は、打合わせの上決定し施工のこと。
その他	外壁冷媒管・ドレン配管貫通部については、外壁取合せ適正材を使用し、コーキングを行い雨仕舞いには特に注意して施工する事。
	室外機架台[どぶ]及び(ｺﾝｸﾘｰﾄ製緑石ブロック)下部段差部分にはモルタル基礎等で補充のこと。
	室内機用保護カバー(球技等の対策)、鋼製部品及び吊部材類ボルト等（～1800）・振れ止め金具（ボルト固定式）は本工事。
	配管貫通用開口は本工事。
	天井点検口は本工事。
	天井材及び天井下地の部分撤去は本工事。（天井材の貼り替え・天井下地開口補強はなし）。

室外機据付固定支持処理凡例

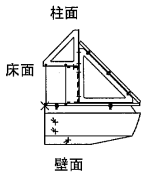
据付固定支持処理凡例図（参考）



- 室外機架台防振ｺﾞﾑ[ｷｬｯﾁｬｰPCNJｼﾘｰｽﾞ等]
- 下部段差部分にはモルタル基礎等で補充のこと。
- 室外機架台周辺に雑草対策をすること。
- 室外機発生ﾄﾞﾚﾝは土間に垂れ流さないことこと。
- 室外機転倒防止処置材SUS固定材端部保護すること。
- 室外機位置は事前に施設側と協議し、ﾒﾝﾃｽﾍﾟｰｽを確保すること。

室内機固定支持処理凡例

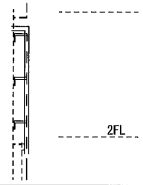
室内機固定支持処理凡例図（参考）



- 室内機用保護全面カバー[ﾔﾏﾝｼﾀ/ｲﾅﾊﾞ/ｷｬｯﾁｬｰ等](球技等の対策)のﾒｯｼｭ寸法及び取付詳細を提出し、事前に確認すること。
- 室内機固定用鋼製部品及び吊部材類ボルト等（～1800）の詳細・根拠資料を提出し、事前確認をすること。
- 室内機位置は事前に施設側と協議し、手摺金物等との取付離隔を確認し、施工すること。
- 振れ止め金具（ボルト固定式）はﾜｯﾄ等の処置をし、墜落防止対策を行なうこと。

冷媒配管支持処理ほか凡例

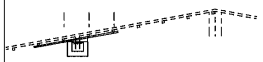
配管支持処理凡例ほか図（参考）



- 屋外露出部の配管はｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板ﾗｯｷﾝｸﾞとする。
- 2FL配管支持材SUSは1F壁面に合わせること。
- 横引配管は2FLまでに処置すること。
- 外壁意匠に合わせた止水処理部材を使用すること。
- ドレン端末排水は、VP20φにて2FLまでの竪樋に接続すること。

ｴｱｰｽｲﾝｸﾞﾌｧﾝ固定支持処理凡例

固定支持処理凡例図（参考）



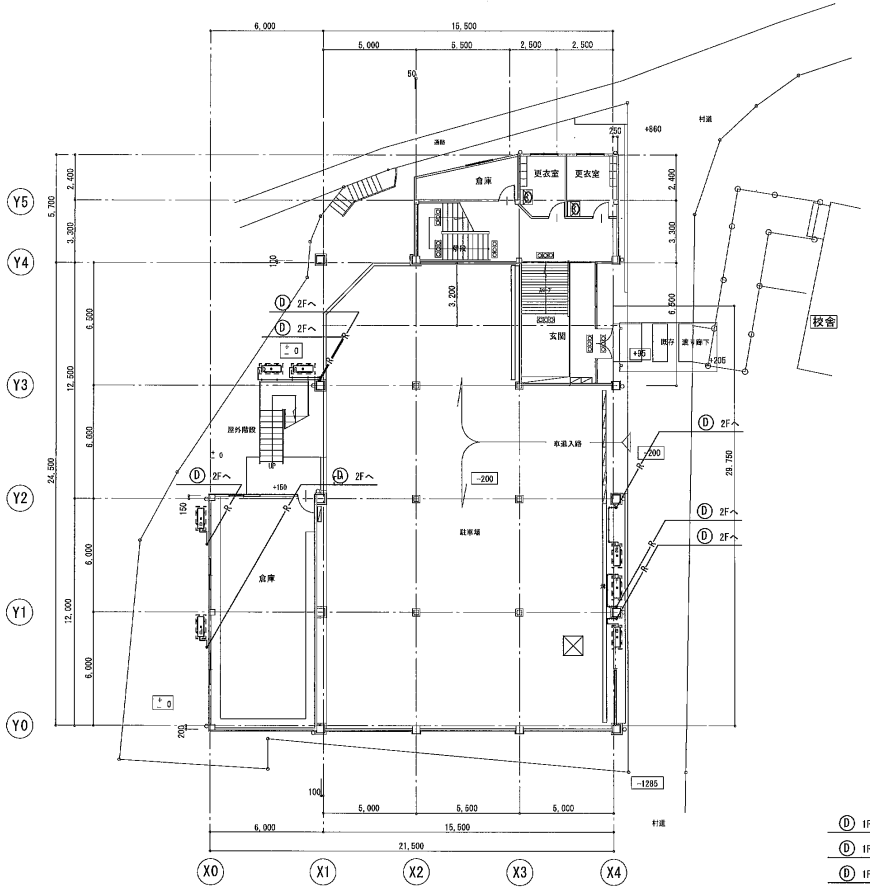
- ｴｱｰｽｲﾝｸﾞﾌｧﾝ用保護カバー[ﾔﾏﾝｼﾀ/ｲﾅﾊﾞ/ｷｬｯﾁｬｰ等](球技等の対策)のﾒｯｼｭ寸法及び取付詳細を提出し、事前に確認すること。
- 固定用吊部材類ボルト等の詳細・根拠資料を提出し、事前確認をすること。
- 取付位置は事前に施設側と協議し、照明器具等との離隔を確認し、施工すること。
- 固定金物金具ボルト類はﾜｯﾄ等の処置をし、墜落防止対策を行なうこと。

Special note
Introductory remarks

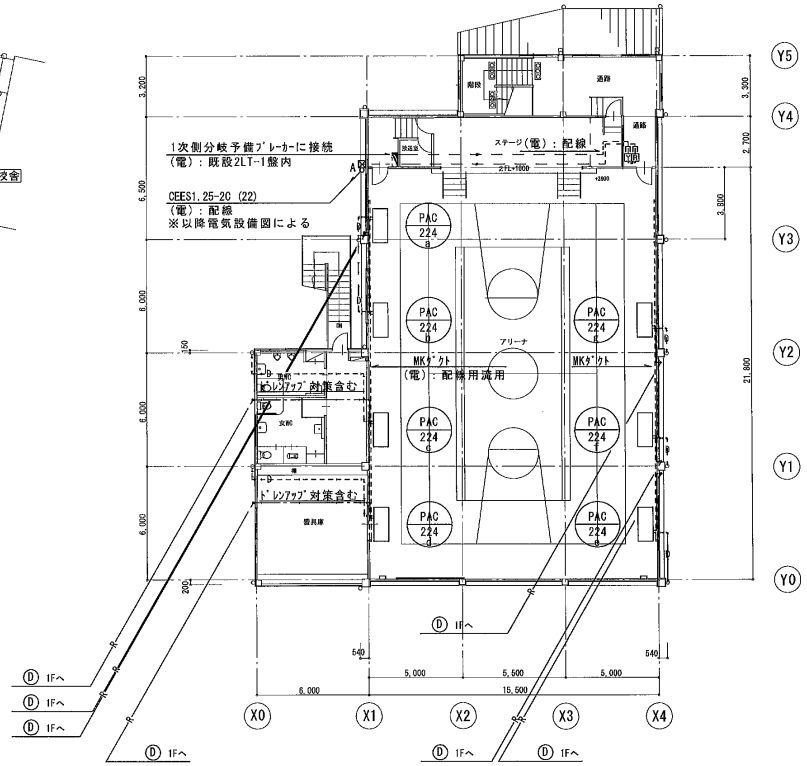
冷媒配管サイズ表		
記　号	液　管	ガス管
Ⓐ	φ6.35	φ9.52
Ⓑ	φ6.35	φ12.70
Ⓒ	φ9.52	φ15.88
Ⓓ	φ9.52	φ25.4

特記事項

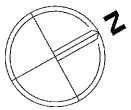
図中、明記のない配線は下記による		
⊠	リモコン供給ﾕﾆｯﾄ	51KU型　　渡線含む
▥	空調リモコン	50AT2型
=======	MKﾀﾞｸﾄ80-100	MKﾀﾞｸﾄ[(電)：器具移設用]に冷媒管等を収容
—R—	冷媒管(CE3.5-4C)	露出
—R—	〃	隠ぺい
--D--	ドレン配管	露出
—D—	〃	隠ぺい
リモコン設備　本体結線・取付本工事		



配置図　1階平面図 1:200



2階平面図 1:200



Special note
Introductory remarks

M A 設 計 事 務 所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

仁淀川町立別府小学校屋内運動場空調設備整備工事

date	drawn by	checked by
NO 2663 2025・7	植田　司	岩原英和

空調設備(EPH)図

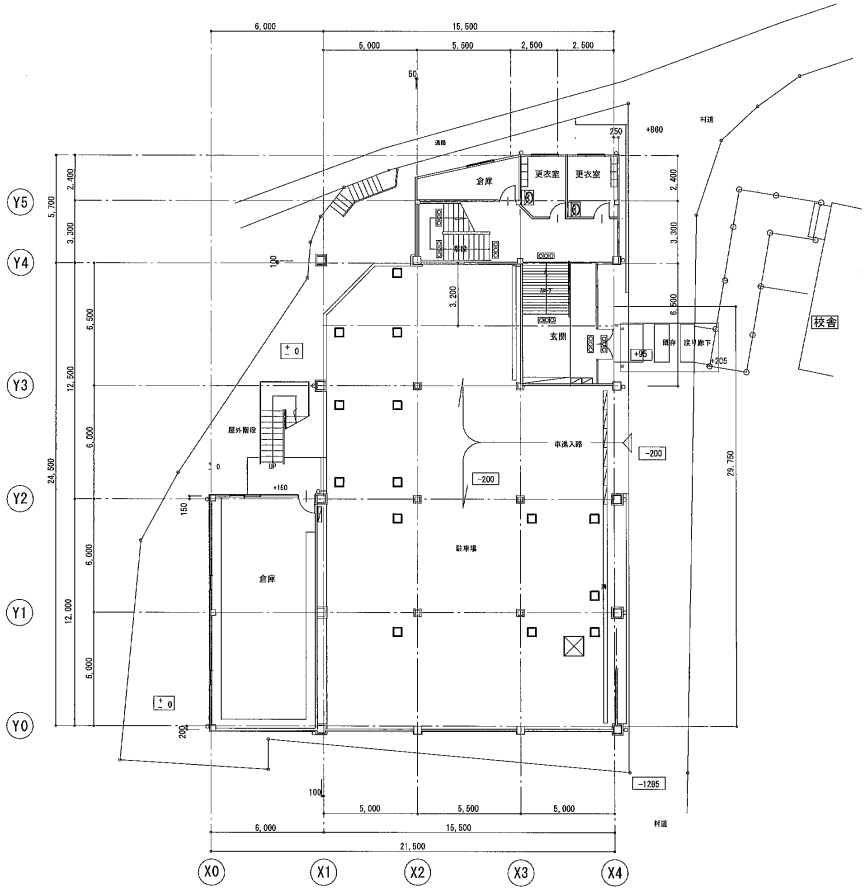
scale 1／200

機械

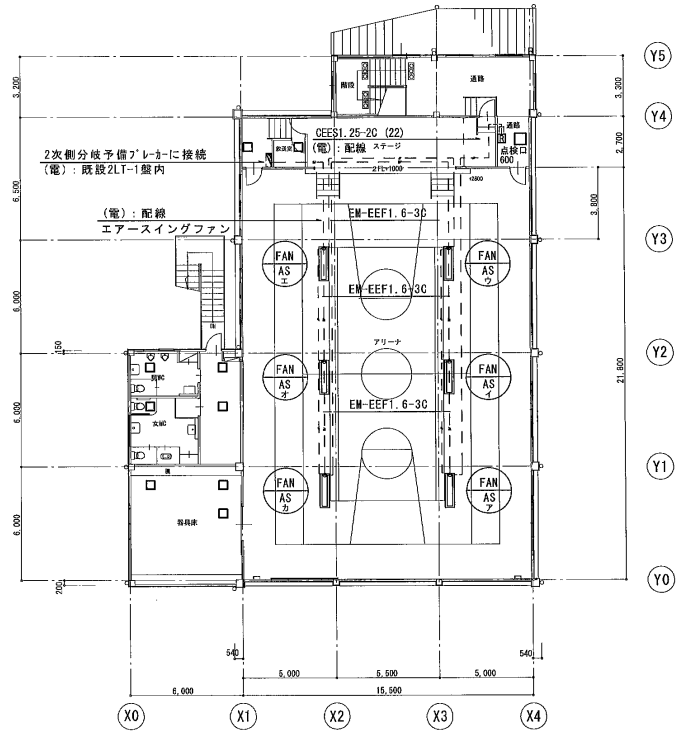
09

特記事項

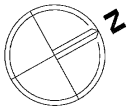
図中、明記のない配線は下記による		
図	FANリモコン	FS02型　結線・取付
エアースイイングファン　本体結線・取付本工事		



配置図　1階平面図 1:200



2階平面図 1:200



Special note
introductory remarks

□□アルミ天井点検口（縁縁タイプ）新設（図示600角1か所、その他すべて450角）
設置位置は現地調査の上場所を決定すること

MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
M A 設 計 事 務 所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

仁淀川町立別府小学校屋内運動場空調設備整備工事

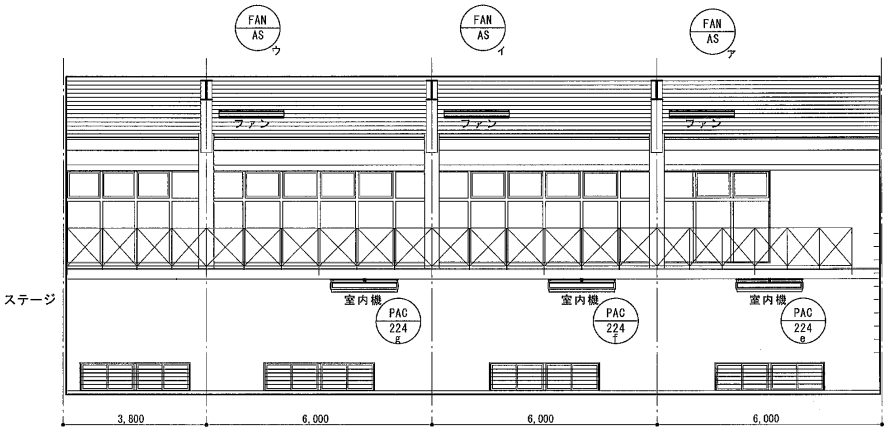
date	drawn by	checked by
NO 2663 2025・7	植田　司	岩原英和

空調設備(ｴｱｰｽｲﾝｸﾞﾌｧﾝ)図
天井点検口位置図

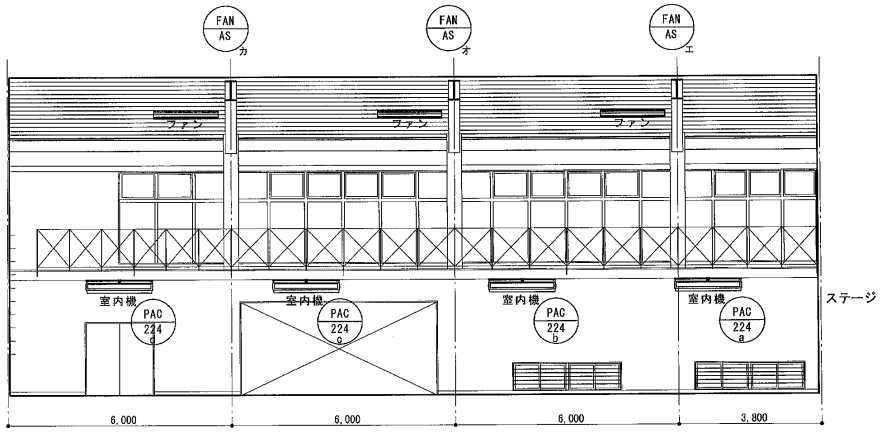
scale 1／200

機械

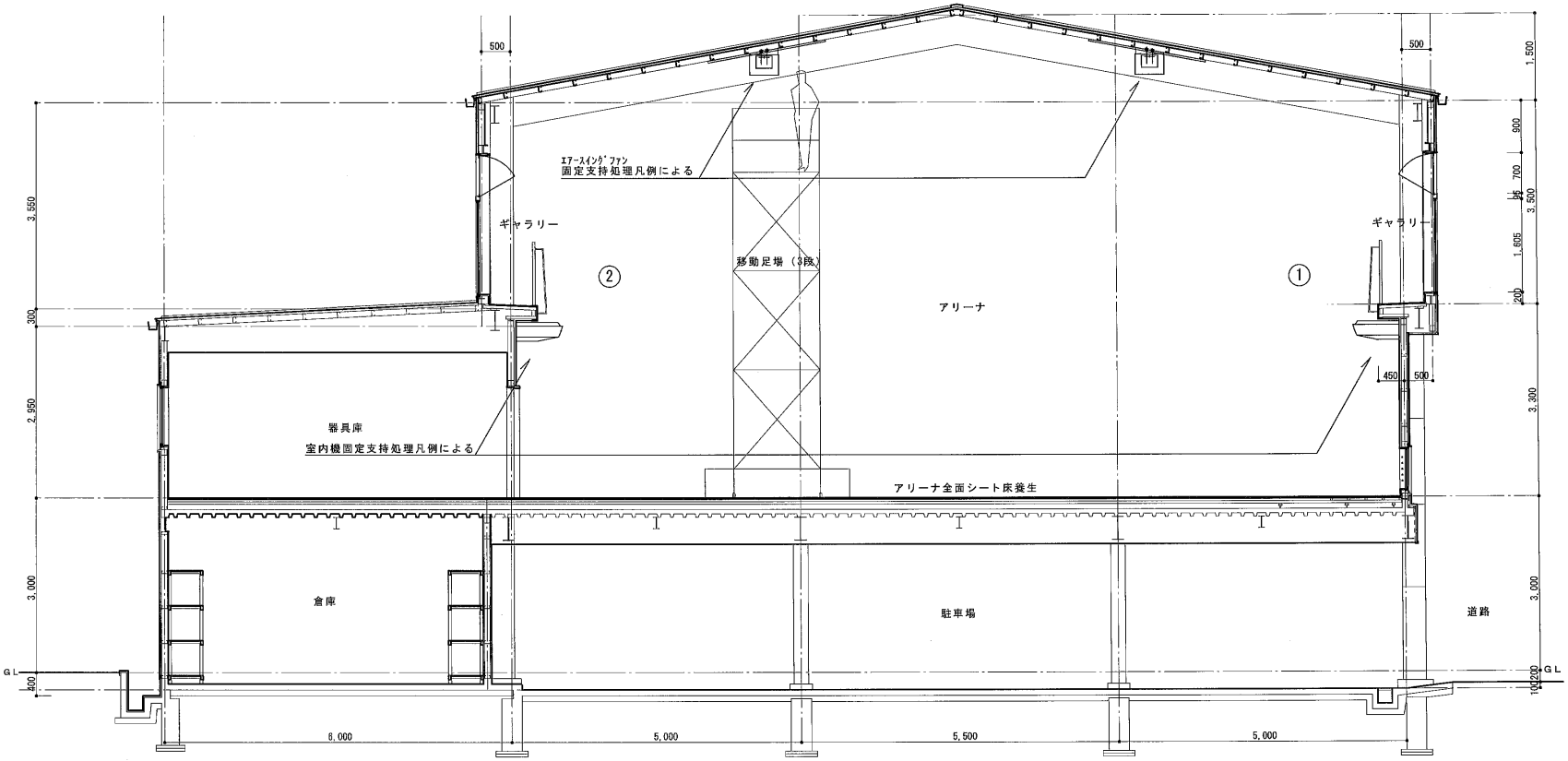
10



① アリーナ展開図 1/100



② アリーナ展開図 1/100



断面図 1/60

Special note
introductory remarks

- 機器の位置及び固定取付方法等は、メーカーと充分協議の上決定すること
- 上部スイングファン取付用移動式足場（アリーナ内の施工工期は1か月程度）
  同上足場はローリングタワー3段程度（転倒対策等安全を確認して施工すること）
- アリーナ床養生（全面シート養生）

MACOM ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE

M A 設 計 事 務 所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士 登録第298514号 岩原英和

仁淀川町立別府小学校屋内運動場空調設備整備工事

date	drawn by	checked by
NO 2663 2025・7	植田 司	岩原英和

空調機・エアースイングファン位置図
参考仮設計画

scale 1／60.100

機械

11